

高校生訪韓団（第1～2団） 派遣事業の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】和歌山県及び長野県から選抜された高校生等 100 名を韓国に派遣し、学校訪問等を通じた同世代との交流、講義聴講、テーマ「日韓交流と韓国の現状理解」に沿った各種視察等を通じて、韓国の社会や文化に対する理解を深め、日本の魅力を広く積極的に発信することにより、今後の日韓間における相互理解の促進や信頼関係増進の基盤強化に寄与することを主目的とする。

【参加者】日本の高校生等 100 名

【訪問地】韓国（ソウル特別市、京畿道城南市・平沢市・河南市・高陽市 100 名）

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

10 月 19 日（土）（第 1 団）オリエンテーション（プログラム説明）、参加者による対外発信

10 月 20 日（日）（第 2 団）オリエンテーション（プログラム説明）、参加者による対外発信

■ 派遣プログラム：

11 月 3 日（日） 仁川国際空港より入国、オリエンテーション

11 月 4 日（月）【講義聴講】「日本の外交戦略と日韓関係」、歓迎式、【視察】ワールド K-POP センター、大韓民国歴史博物館、明洞（グループ毎にフィールドワーク実施）

11 月 5 日（火）【学校訪問・交流】1 チーム：韓国観光高等学校、2 チーム：韓国アニメーション高等学校、3 チーム：突馬高等学校

11 月 6 日（水）【企業訪問・視察】現代モーターススタジオ高陽、【視察】景福宮、盆唐地域（グループ毎にフィールドワーク実施）

11 月 7 日（木）【視察】ソウル特別市庁舎、光化門広場、【学校訪問・交流】東国大学校、【講義聴講】「日韓文化コンテンツ産業の現状と未来」

11 月 8 日（金）【視察・文化体験】韓国民俗村、【講義】「手で花を咲かすハングル」、成果報告会

11 月 9 日（土） 仁川国際空港より出国

2. 記録写真

	
2024 年 11 月 4 日【講義聴講】「日本の外交戦略と日韓関係」	2024 年 11 月 4 日【視察】大韓民国歴史博物館
	
2024 年 11 月 5 日【学校訪問・交流】韓国観光高等学校	2024 年 11 月 5 日【学校訪問・交流】韓国アニメーション高等学校
	
2024 年 11 月 5 日【学校訪問・交流】突馬高等学校	2024 年 11 月 6 日【企業訪問・視察】現代モーターススタジオ高陽
	
2024 年 11 月 7 日【視察】ソウル市庁舎	2024 年 11 月 7 日【学校訪問・交流】東国大学校

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 日本 高校生（1団）

実際に韓国的高校生と交流して、韓国の文化や韓国の食べ物、授業、歴史などを詳しく知ることができて良かった。1週間訪韓して分かったことは、韓国と日本での生活にはそれぞれに違う良さがあるということだ。日本語が通じない韓国の街の人と全て韓国語で話をしたことはすごくいい経験になったし、お店の看板に書いてある韓国語の文字が分からなかったら翻訳機を使って理解し、新しい韓国語を覚えることができた。

◆ 日本 高校生（1団）

1番印象に残ったのは学校訪問だ。ここでは、日本語を習う学生たちと交流をしたが、日本語で話す時もあれば少し韓国語を使って話すこともありすごく楽しかった。今流行っていることや、好きな日本の食べ物など、お互いについてたくさんを知ることができた。また実際に授業を体験する中で、日本と同じところや違うところに気づくことができた。

◆ 日本 高校生（2団）

高校訪問が良かった。現地の高校生と交流し同世代の学校生活や日常をリアルに体験することで、互いを理解しようとする姿勢や自分のこれからの進路、自己理解などに繋がったと感じる。多文化理解の上でも非常に効果的だった。

◆ 日本 高校生（2団）

普段の旅行などでは経験できない現地の高校生との交流の中で、お互いの国の文化などを話し合い、相手の日本に対する考えを知るとともに、両国の違いや共通点を知ることができた。日韓の関係をより良くする架け橋になれたと思う。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 韓国観光高等学校関係者

国際教育の強化で国際理解力を兼ね備えた専門家の育成に寄与するプログラムであり、韓日両国の学生たちがお互いの文化に対して関心を寄せる良い機会となった。また学生たちが未来の主演として成長していけるようなオーダーメイド型の教育支援に役立った。

◆ 韓国アニメーション高等学校関係者

学生と学校が主導した国際教育活動で、外国語教育課程及び国際教育交流と連携した世界市民教育の拡大につながった。学生たちの国際理解教育及び未来志向的な国際交流教育活動と目的達成に寄与するプログラムとなった。

◆ 突馬高等学校関係者

国際教育交流プログラムを通じた世界市民意識の向上に役立つプログラムとなった。短い出会いを有意義に過ごそうと努力する両国の生徒たちの真心に感謝する。今回の出会いを一過性のものとしな

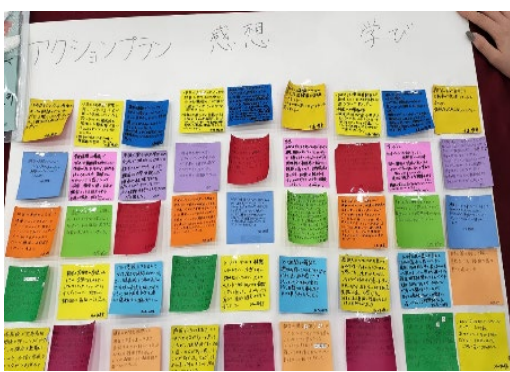
め、引き続きプログラムが補完されることを願う。コミュニケーションのためには言語と文化の理解が重要だということを体得する意味ある時間となった。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

 駐韓日本大使館 広報文化部長 川瀬和広さんから「日本の外交戦略と日韓関係」について講義を頂きました。歴史的な背景から日本の印象があまり良くないと感じている韓国の人は約43パーセントいることにとっても驚きました。国際社会における様々な課題への対応に協力していくべき重要な隣国であることから日韓関係の強化は急務だという話を頂きました。関係強化するための相手をよく知ることが大切であるため、この研修中では積極的に話をしてお互いの国のことについて知っていきたいです。	 研修プログラムの前半1日目～4日目の様子です！ K-POPダンス体験は、難しかったけど、先生が優しく教えてくださって、とても楽しかったです！ 韓国の高校訪問として、突馬高校に行きました！バディの子が優しく接してくれて、嬉しかったです！韓国語を話せない私でも、英語を使ったり翻訳アプリを使ったりしてコミュニケーションをとることができ、とても充実した1日になりました。
2024 年 11 月 4 日（Instagram） 日韓は国際社会における様々な課題への対応に協力していくべき重要な隣国であることから日韓関係の強化は急務だというお話を聞きました。関係を強化するためには相手をよく知ることが大切であるため、この研修中は積極的に話をしてお互いの国のことについて知っていきたいです。	2024 年 11 月 5 日（Instagram） 韓国の突馬高校に行きました。バディの子が優しく接してくれて嬉しかったです。韓国語を話せない私でも、英語を使ったり翻訳アプリを使ったりしてコミュニケーションをとることができ、とても充実した1日になりました。
 韓国観光高校へ行きました 制服がホテルの制服みたいでかわいかったです 韓国の日本語を取っている学生は1日1、2時間日本語を勉強しているそうでもとてもペラペラで驚きました そのおかげでたくさん韓国の学生と話すことが出来て日本の印象お菓子テレビも人気だと分かり嬉しかったです 生徒同士でも日本語で話していてとても不思議な感じがしました 学食では自分の好きな量を取るのでも食べ残しが少ないのかと思いましたが嫌いな味だったら残すスタイルで残食がとて多く日本と韓国では感覚が違うんだなと感じました この一日でも韓国と仲良くなることが出来て幸せな日になりました	전자신문 한국관광고, 일본 고등학생들과 국제교류 행사 성료 입력 2024.11.07. 오후 12:24 수정 2024.11.07. 오후 1:04 세계시민으로 성장하는 활발한 국제교류 운영  한국관광고등학교는 5일 한일 고교생 교류 방한연수단 30명과 함께 교류 프로그램을 진행했다. 한국관광고등학교(교장 김기성)는 5일 한일 고교생 교류 방한연수단(단장 나시지마 아츠시)과 학교 방문 교류 프로그램을 진행했다. 한일 고교생 교류는 1998년 한일 정상회담을 계기로 양국의 글로벌 인재양성을 목적으로 이어져 오고 있다. 올해는 일본의 와카야마현과 나가노현 소재 고등학교에서 선발된 30명의 학생들이 한국관광고를 방문해 관광일본어능력 향상과 학생들과 하루 동안 한국의 학교문화를 체험하는 등 다양한 교류를 진행했다. 한국관광고 학생들은 교문에서 일본 친구들의 이목을 직접 끄고 푸안 카드를 들고 서서 학교를 찾은 방한 연수단 학생들을 기쁜 마음으로 환영했다.
2024 年 11 月 5 日（Instagram） 韓国観光高校へ行きました。日本語を選択している生徒は1日1～2時間日本語を勉強しているそうでとてもペラペラで驚きました。そのおかげで	2024 年 11 月 7 日（電子新聞 WEB 版） 「韓国観光高校、日本の高校生たちとの国際交流行事成功裏に」韓国観光高等学校での交流プログラムについて、参加した両国の生徒代表へのイン

たくさんの韓国の生徒と話すことができ、嬉しかったです。この一日で韓国の生徒ととても仲良くなることができて幸せな日になりました。	タビューとともに紹介。
--	--------------------

6. 報告会での訪韓成果とアクション・プラン発表（概要または抜粋を記載する）

	
【成果の発表】 ・第4次産業革命の現代では情報と知識が重要であり、日韓間においても情報などを共有する場が必要であることを学んだ。そのためには互いの文化を尊重し合うことが必要だ。 ・韓国からの視点で日本について知ることができ新鮮だった。 ・韓国の友人と仲良くなったことで、国が違っても共通点がたくさんあることを学んだ。 ・韓国は現代と歴史が共存していて、エンターテインメントに力を注いでいる様子が印象的だった。 【アクション・プラン】 ・韓国の友人とインスタを通して交流を続け、もう一度韓国で再会する。またSNSを通じた日本の魅力発信を強化する。 ・訪韓団活動の成果発表会を行う。 ・地元新聞からの取材に対応する。 ・韓国の友人に日本留学プランを提案する。	【成果の発表】 ・言葉が通じなくても、コミュニケーション取ろうとする気持ちの方が大事であることを、韓国の同世代の行動力から学んだ。 ・日韓両国間の諸問題（歴史認識・領土問題等）について、韓国側からの解釈についても知ることができ、視野が広がった。また物事には一方的ではない、様々な方面から見たほうが良いという点も学んだ。 ・韓国の同世代と友人になれたことが何よりもの財産となり、今回の最も大きな成果だと思う。この出会いを大切にしていきたい。 【アクション・プラン】 ・帰国後に校長先生に訪韓後について報告する際、全校の皆さんへ訪韓団の成果報告の機会を与えていただき、学んだことを広く伝えたい。 ・SNSでの発信はもちろん、長野県内の留学フェス等様々な機会体験したことを伝えていきたい。 ・韓国の友人との交流を続けていき、再会を果たしたい。

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金